

日本熱帯農業学会 第 138 回講演会

期 日 2025 年 10 月 25 日（土）・10 月 26 日（日）

場 所 高知大学 朝倉キャンパス
〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目 5 番 1 号

事務局 〒783-8502 高知県南国市物部乙 200 高知大学農林海洋科学部
運営委員長 宮崎彰
事務局長 阪田光和
運営委員 森塚直樹

参加費 一般：6,000 円，学生：4,000 円（要旨集代を含む）

発表者について 発表者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までにご入会ください。

受 付 10 月 25 日（土）8：30～，25 日（日）8：00～
朝倉キャンパス共通教育棟 3 号館 310 教室

第 1 日 10 月 25 日（土）	第 1 会場 3 号館 325 教室	第 2 会場 3 号館 324 教室
9：30～12：00	研究発表（講演番号 1～10）	研究発表（講演番号 11～20）
12：00～13：10	昼食	
13：10～16：30	公開シンポジウム 「国際協力人材育成の循環～どのように組織連携で促すか～」 （共通教育棟 212 教室）	
17：30～19：30	懇親会（高知大学朝倉キャンパス大学生協）	

第 2 日 10 月 26 日（日）	第 1 会場 3 号館 325 教室
9：00～12：00	研究発表（講演番号 21～32）

第 138 回講演会プログラム

第 1 日 10 月 25 日（土）研究発表（発表 12 分，質疑応答 2 分 30 秒），講演番号の後ろ★は学生優秀発表審査対象

開始時刻	座長	第 1 会場 325 教室	座長	第 2 会場 324 教室
9 : 30	富田 怜那 (名古屋大学)	1★. ウガンダのイネ品種 SUPA における短期冠水による生育応答と収量への影響 *辻愛友・倉内伸幸・加藤太・佐々木大（日本大学大学院生物資源科学研究科）	島田 温史 (玉川大学)	11★. マンゴー属 2 種 (<i>Mangifera indica</i> L., <i>M. pentandra</i> Hook. f.) における光合成特性の比較 *久野龍之介・近藤友大・樋口浩和（京都大学大学院農学研究科）
9 : 45		2★. Effects of Biofertilizer on Rice Plant Growth and Reducing the Application of Chemical Fertilizer for the Cultivation. *Belete Alemayehu Refera ¹ and Katsuyoshi SHIMIZU ² (¹ Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University, ² Faculty of Agriculture, Kagoshima University)		12★. 湛水高畝システムにおける畝の土壌水分管理が果樹の水分状態に及ぼす影響 —チャオプラヤデルタのリュウガン園の事例— *木村俊太 ^{1,2} ・樋口浩和 ¹ ・近藤友大 ¹ ・Treerajet AEIMPAN ² ・Watcharra CHINTAKOVID ² ・Aussanee PICHAKUM ² (¹ 京都大学大学院・ ² マヒドン大学)
10 : 00		3★. 自作可能な灌水システムの開発とデントコーン栽培による検証 *河西寛太 ¹ ・赤嶺光 ² ・遠藤雅人 ³ ・諏訪竜一 ⁴ (¹ 琉球大学大学院農学研究科・ ² 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育センター・ ³ 東京海洋大学大学院研究院海洋生物資源学部門・ ⁴ 琉球大学農学部)		13★. シイクワーサーなど南西諸島在来カンキツ遺伝資源の類縁関係の解明 *内山竣太郎 ¹ ・金城秀安 ² ・光部史将 ³ ・香西直子 ⁴ ・山本雅史 ⁴ (¹ 鹿児島大学大学院農林水産学研究科, ² H.K.ラボ, ³ 沖縄県農林水産部, ⁴ 鹿児島大学農学部)
10 : 15		4★. 廃菌床施用後の寝かせ期間がトウモロコシの生育および土壌化学性に与える影響 *西川晃生 ¹ , 中塚博子 ¹ , 高島幸司 ¹ , 中村智史 ² , 菊野日出彦 ¹ (¹ 東京農業大学, ² 国際農林水産業研究センター)		14★. 異なる誘引回数がビワ (<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.) 果実および樹体に及ぼす影響 *本田りくと ¹ ・西澤優 ¹ ・香西直子 ¹ ・福留弘康 ² ・濱田延枝 ² ・勘米良祥多 ² ・兒玉真紀 ² ・廣瀬潤 ² ・山本雅史 ¹ ・遠城道雄 ¹ (¹ 鹿児島大学農学部・ ² 鹿児島大学農学部附属農場唐湊果樹園)

10:30	加藤太（日本大学）	5★. 低温プラズマ照射がササゲ属植物の発芽と初期成長に及ぼす影響 *深澤満理奈¹・Xinwei Jiang¹・杉浦史都¹・Destieka Ahyuni²・仲田麻奈²・井上健一³・石川健治³・江原宏^{1,2}（¹名古屋大学大学院生命農学研究科・²名古屋大学農学国際教育研究センター・³名古屋大学低温プラズマ科学研究センター）	香西直子（鹿児島大学）	15★. Field Notes on Cultivation, Market, and Utilization of Dhonia (Coriander) in the Rainy Season in Tangail District, Bangladesh *ANDO Takumi¹, Md. Rashedur Rahman², ONISHI Nobuhiro¹, ANDO Kazuo^{1,3}（¹ Graduate School of Bioenvironmental Sciences, Kyoto University of Advanced Science, ² Department of Agronomy, Bangladesh Agricultural University, ³ Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University）
10:45		6★. バングラデシュ沿岸地域における乾季の塩類集積がダイズの収量に及ぼす影響 *藤井佳祐，樋口浩和（京都大院農学研究科）		16★. Genotypic differences in Passion Fruit Growth, Yield, Quality, and Juice Mineral Content as Affected by Soil Environments *Kingston Tochukwu Obike^{1,2}, Hiroshi Matsuda², Hitoshi Shinjo¹（¹Grad. Global Environmental Studies, Kyoto Univ., ²JIRCAS TARF）
11:00		7★. <i>Agrobacterium</i> sp. S-343 の人為接種がトマトの生育に及ぼす影響 *曾根歩花¹・二ツ森惣成¹・寺田順紀²・山本紘輔³・志和地弘信¹（東京農業大学大学院¹・国際農業開発学科²・分子微生物学科³）		17★. Exogenous Application of Glycine Betaine and Its Impact on Metabolites in Passion Fruit (<i>Passiflora edulis</i> Sims f. <i>flavicarpa</i>) Seedlings and Cuttings Under Drought *Oliveira L. de A.¹, Terada N.¹, Sanada A.¹ and Koshio K.¹（¹ International Agricultural Development Department, Tokyo University of Agriculture, Tokyo, Japan）

11:15		8★. 苦鉄質岩の土壌施用がキャッサバ (<i>Manihot esculenta</i>) の生育に及ぼす影響 *児玉純也¹・玉木陸斗²・Michel Ouyabe²・鈴木伸二¹・岡澤宏¹・志和地弘信¹・関原明³・菊野日出彦² (¹東京農大・²東京農大宮古亜熱帯農場・³理化学研究所環境資源科学研究センター)		18★. ケナフの折損対策としての青刈り栽培の評価とケナフ炭素固定技術の開発 *高崎蒼¹・柳原敬彦²・小針統³・幅野明正³・中村啓彦³・志水勝好⁴ (¹ 鹿児島大学連合農学研究科・² 鹿児島大学大学院農林水産学研究科・³ 鹿児島大学水産学部・⁴ 鹿児島大学農学部)
11:30	松田大志 (国際農林水産業研究センター)	9★. Analyzing the Genetic Diversity in the Genus Capsicum Through the Use of a Novel Technique: dpMIG-seq *Claudia F. ORTEGA MORALES¹, Kenji IRIE², Kazusa NISHIMURA³, Makoto KAWASE⁴, and Roberto UGÁS⁵ (¹Graduate School of International Food and Agricultural Studies, Tokyo University of Agriculture, ²Faculty of International Food and Agricultural Studies, Tokyo University of Agriculture, ³Faculty of Environmental, Life, Natural Science and Technology, Okayama University ⁴Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture, ⁵Facultad de Agronomía, Universidad Nacional Agraria La Molina)	吉田沙樹 (東京農業大学)	19. ベトナム東北部カオバン省およびトゥエンクアン省における植物遺伝資源探索 *松島憲一¹・尾崎耕²・Thi Bich Thuy NGUYEN³・Thi Thu Hoai TRAN³ (¹信州大学学術研究院農学系・²高知県農業技術センター作物園芸課・³ベトナム農業科学アカデミー植物資源センター)
11:45		10. Genotypic Comparative in Culm Elongation Across Thirty -Three Nigeria Rice Lines Under Rainfed and Deep- Water Condition. *Adesanya Oluwatoyin^{1,2} kenji Irie¹ (¹Graduate school of Tokyo University of Agriculture. ²National Cereals Research Institute, Badeggi, Niger State, Nigeria.)		20. ベトナム北中部ゲアン省における植物遺伝資源探索 *松島憲一¹・杉田亘²・Minh Loan HA³・Thi Thu Hoai TRAN³ (¹信州大学学術研究院農学系・²南九州大学環境園芸学部・³ベトナム農業科学アカデミー植物資源センター)
12:00	昼休み			

13:10	公開シンポジウム（共通教育棟 212 教室） 「国際協力人材育成の循環～どのように組織連携で促すか～」 13:10～ 開会あいさつ・趣旨説明 13:20～ 高知大学におけるグローバル人材育成の取り組み （高知大学農林海洋科学部 准教授・増田和也氏） 13:50～ JICA 海外協力隊事業を通じたグローバル人材の育成及び環流の取り組み （国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局 次長・内山貴之氏） 14:20～ 海外協力隊・連携派遣の実際とその意義 （東京農業大学国際食料情報学部 教授・入江憲治氏） 15:00～ 国際協力人材へのキャリアアップー窓口はどう開かれているかー （株式会社三祐コンサルタンツ海外事業本部 執行役員・荒川英孝氏） 15:40～ 総合討論（パネルディスカッション） コーディネーター 宮崎彰（高知大学農林海洋科学部）
17:30	懇親会（高知大学朝倉キャンパス大学生協）

第2日 10月26日（日）研究発表（発表12分，質疑応答2分30秒）

開始時刻	座長	第1会場 325教室
9:00	真 常 仁 志 （京 都 大 学）	21. ケニア熱帯高地におけるイネ穂ばらみ期の耐冷性評価と低温ストレス定量化 *富田怜那 ¹ ・Emily Gichuhi ² ・Daniel Menge ² ・菊田真由実 ³ ・槇原大悟 ¹ （ ¹ 名古屋大学農学国際教育研究センター・ ² ケニア農畜産業研究機構・ ³ 東京農業大学農学部）
9:15		22. タンザニア・キロンベロ谷における水稻二期作の拡大 *加藤太（日本大学生物資源科学部）
9:30		23. タンザニアの三大稲作地帯における天水稲作の栽培状況 *團 晴行 ¹ ・廣内慎司 ¹ ・ゴッドソン ヨナ ² （ ¹ 国際農林水産業研究センター， ² タンザニア国立アルーシャ工科大学）
9:45		24. A case study of changes in water management and agro-chemical inputs in 3 different rice ecosystems in Cambodia from 2009 to 2019 Rinako Takashima ¹ , Thida Lim ² , Chea Sareth ² , *Kamoshita Akihiko ¹ （ ¹ Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ² Cambodian Agricultural and Research and Development Institute）
10:00	宮 崎 彰 （高 知 大 学）	25. Challenges for Ensuring Early Growth of Sago Palm: Utilization of Low-temperature Plasma Technology and Useful Microbes *D. Ahyuni ^{1,2} , K. Asano ¹ , M. Kano-Nakata ¹ , K. Inoue ³ , H. Hashizume ³ , H. Tanaka ³ , K. Ishikawa ³ , T. Isoi ⁴ , H. Naito ⁵ , M. Suwarno ⁶ , G. B. Rahim ⁶ , D. Asmono ⁶ , A. Azhar ⁷ and H. Ehara ¹ （ ¹ International Center for Research and Education in Agriculture, Nagoya University, ² Politeknik Negeri Lampung, ³ Center for Low-temperature Plasma Sciences, Nagoya University, ⁴ Faculty of Agriculture, Meijo University, ⁵ College of Life Science, Kurashiki University of Science and The Arts, ⁶ PT Binasawit Makmur, Sampoerna Agro Tbk., ⁷ IPB University）
10:15		26. Effect of a Sugar-ester Edible Coating on Pericarp Browning in Lychee Fruits during Storage *Oscar W. Mitalo ¹ , Hiroshi Matsuda ¹ , and Natsuki Hira ² （ ¹ JIRCAS TARF, ² Shiga R&D Center, Mitsubishi Chemical Corporation）

10:30	内藤整 (倉敷芸術科学大学)	27. 石垣島の施設栽培環境下におけるマンゴー100品種の開花結実特性の比較 *松田大志 (国際農研熱帯島嶼研究拠点)
10:45		28. インドネシア・アンボン島におけるサトウヤシの利用方法について *山本宗立 ¹ ・Jeter D. SIWALETTE ² ・Wardis GIRSANG ² (¹ 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター・ ² パティムラ大学農学部)
11:00		29. クリプトメリア培地における灌水量と灌水頻度がファレノプシスの生育に及ぼす影響 *小原廣幸・松田さおり・新海翼 (玉川大学農学部)
11:15	山本宗立 (鹿児島大学)	30. ミャンマーおよびネパール産栽培アカザ属植物 (<i>Chenopodium</i> spp.) の細胞遺伝学的研究 *齋藤温仁 ¹ ・河瀬眞琴 ² ・松島憲一 ³ (¹ 信州大学農学部・ ² 東京農業大学農学部 (退職者)・ ³ 信州大学学術研究院農学系)
11:30		31. ミャンマー在来アブラナ科種子の脂肪酸組成と構造的特徴 *尾関未帆 ¹ ・熊本雄斗 ² ・野原大知 ³ ・大森由貴 ² ・平林静香 ² ・Ohn Mar Aung ⁴ ・入江憲治 ⁵ ・和久井健司 ² ・吉田沙樹 ² (¹ 東京農業大学生物資源ゲノム解析センター・ ² 東京農業大学生物資源開発学科・ ³ 東京農業大学大学院農学専攻・ ⁴ ミャンマー農業畜産灌漑省 農業研究局・ ⁵ 東京農業大学国際農業開発学科)
11:45		32. マラウイ農村におけるグループ活動の社会ネットワーク分析 -草の根技術協力プロジェクトを事例に- 奥野隼・*真常仁志 (京大院地球環境)